



であい  
ごうか

52 (水口町名坂) いけもと はるこ 池本 治子さん

### 余り物でも残り物でもなく “宝物”です。

池本さんがレザークラフト(革工芸)と出会ったのは20年ほど前。子育てに関わる時間にも余裕ができ、何か趣味になることはとっていたときに知人から紹介されたそうです。想像以上に手間もかかり、材料も道具も揃えるのは大変なことでしたが、使用する牛革は材料としてすべて使えるため、曲線や切れ端をつなぎ合わすと世界に一つしかない製品が出来ます。

この手づくりの醍醐味に惹かれ、独学で作品を作り続けてこれられました。

長続きの秘訣を伺うと「無理をしないこと。」自分のペースでやりたいときは何時間もやるけれど、やりたくないときは何日もやらない。このメリハリがご自身にとって心地いいそうです。

今では同じ趣味を持つ仲間も増え、自宅近くのアパートの一室を借りて作品づくりを楽しまれています。

時折、文化祭の講師としても声がかかる池本さん。「今の私にとってレザークラフトの出会いは感謝です。これからも続けられるまで作品との出会い、人との出会いの「輪」を広げていきたいと思っています」



### にんくる土曜塾

にんくる児童館で6月11日、「にんくる土曜塾」が行われました。この日は、参加した子どもたちが古くなったうちわを家から持ち寄り、骨組みの状態にまで張り紙をはがした後、好きな色紙を貼り、その上に絵を描いたり、シールを貼ったりして思い思いの「オリジナルうちわ」づくりを楽しみました。



▲うちわに絵を描く子どもたち

### 古くなったうちわをリメイク、 自分だけのオリジナルうちわ

### いつまでもお元気でね お年寄りとおふれあい交流

#### 甲賀西保育園

甲賀西保育園の5歳児22名と、地元滝区のお年寄りが6月8日、滝公民館で交流を行いました。

滝区ふれあいきいきサロンが、毎年1回この時期に園児を招待しており、この日は園児が「かたつむり」などの歌を披露した後、お年寄りとおペアになり、肩たたきや、遊戯をして交流を深めました。

交流会終了後、お年寄りから、手作りのコマがプレゼントされ園児たちは大喜びでした。



▲お年寄りの肩をたたき甲賀西保の園児



## 元気なまちかど

### 創立50周年で 車椅子などを寄贈

水口ロータリークラブ創立50周年を迎え、記念として中嶋市長に、車いす50台、東日本大震災義援金300万円が贈られました。

水口ロータリークラブは、設立当初より奉仕の精神によるさまざまな公活動を展開しています。寄せられた車椅子については、病院、地域市民センターなどに配置しました。

また当日会場でお寄せいただいた義援金503,848円も後日市に託されました。

### 水口ロータリークラブ



▲目録を受け取る中嶋市長



寄贈された車いす▶  
(信楽中央病院)

### まんまるねん土で みんなとつながる!

#### 信楽陶芸の森・陶芸体験

信楽陶芸の森でこのほど「ねんど遊ぶーちょっとだけ陶芸体験」が開催され、県内の美術教育システムなどを研修するために訪れたアメリカ・ミシガン大学の学生9名のほか、親子づれなどが参加しました。

陶芸家の宮本ルリ子さんの指導を受けて、丸めたねん土に点字のメッセージを一字ずつ押し入れることで、みんなの作品がひとつになるというプログラムです。誰もが楽しめるよう「触って鑑賞する」展示研究の一環として行われ、作品は、吹田市立博物館「ユニバーサル・ミュージアム(仮称)展」(9月4日～10月2日)に出品されます。



▲作品の手触りを確かめる参加者

### 親子ふれあい運動広場

岩上体育館で6月17日、幼児の親子22組が「親子ふれあい運動広場」に参加しました。

体を使って運動あそびをすることは、幼児期からの体力づくりや「早寝・早起き・朝ごはん」の規則的な生活リズムにつながるとして、市が家庭教育支援事業としてこの運動広場を開催しています。

この日参加者した親子は、音楽にあわせて体操をしたあと、投げ輪を使った追いかっこをなど、普段家庭ではできない遊びを楽しみました。体育館を元気にいっぱい走り回る子どもたちとお母さんたちの笑顔であふれていました。



▲投げ輪を使って追いかっこをする親子